

# 農 研 速 報

作物名 (落花生)

県名	生育ステージ		生育の状況	問題点	備考
	本年	平年対比			
茨城県 (水戸市)	ナカテユタカ 9月12日収穫	4日早い (生育日数は 4日短い)	<p>生育期間(5月中旬～9月中旬)の気象：</p> <p>平均気温は、5月は平年より1.2℃高く、6月も平年より0.8℃高かったが、7月、8月が平年より0.5℃低く、9月は平年より2.9℃も低かった。全生育期間中(5/14～9/12)の平均気温は平年に比べ0.2℃低かった。日照時間は、全期間中の平年比は101%と並であったが、生育前半の5～7月は平年比120%と長く、後半の8～9月は77%と短かった。降水量は全期間を通じて平年より多く、平年比112%であった(「平年」値は平成21～25年の平均値。水戸地方気象台観測値。)</p> <p>生育概況：</p> <p>播種期は平年並であったが、生育前半は天候に恵まれ、開花期は平年より5日早かった。収穫は平年より4日早い9月12日に実施した(開花期後日数は平年と同じ81日)。</p> <p>平年と比較して主茎長はやや短く、最長分枝長はやや長く、分枝数はやや少なく、地上部の生育は旺盛であった。そのため生育中後半には倒伏が見られ褐斑病の被害が多くなり、収穫直前の落葉が激しかった。</p> <p>生育中後半の倒伏と落葉のため、莢実数は平年比94%とやや少なく、莢実重は平年比96%とほぼ並であったが、上実100粒重が平年比86%と軽く、やや小粒であった。また、剥実歩合は平年比103%、子実重は平年比98%と並であった。</p>	7月中旬頃から見られた褐斑病が、8月中旬には蔓延し、落葉が多く見られた。また、全体の3～4割が倒伏した。	特になし

第1表 生育調査 (落花生)

調査月日 平成26年9月12日(地上部)、11月18日(地下部) 農業研究所

品種	播種期			開花期			収穫期			主茎長			最長分枝長			分枝数		
	本年 (月/日)	前年比 (日)	平年比 (日)	本年 (月/日)	前年比 (日)	平年比 (日)	本年 (月/日)	前年比 (日)	平年比 (日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
ナカテ ユタカ	5/14	0 (5/14)	0 (5/14)	6/23	△1 (6/24)	△5 (6/28)	9/12	△2 (9/14)	△4 (9/16)	41.4	84 (49.0)	94 (43.9)	62.5	96 (65.0)	109 (57.4)	37.8	83 (45.3)	91 (41.7)

  

品種	莢実数			莢実重			上莢歩合			子実重			剥実歩合			上実百粒重		
	本年 (莢/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)
ナカテ ユタカ	35.4	81 (43.9)	94 (37.7)	50.3	78 (64.5)	96 (52.4)	84.6	107 (79.0)	107 (78.9)	36.4	78 (46.9)	98 (37.1)	72.3	99 (72.7)	103 (70.0)	92.6	88 (105.1)	86 (107.1)

注：1. 平年値は平成21年～25年までの5カ年の平均値

2. マルチ栽培、栽植密度6.9株/m<sup>2</sup> (平均畦間60cm×株間24cm)

3. 平年差のうち、月/日及び日数は実数値で示し、△は平年より早いことを示す。主茎長等の項目は%で示す。

4. ( )内は前年または平年の実数値を示す。

